

農家の困りごとが、  
みんなの楽しみになる。

## 官民地域連携「梅収穫ワーケーション」で 地域活性化&積極的関係人口の創出

～日本一の梅の産地・みなべ町の  
ウェルビーイングな課題解決事例～

開催日

6/20(木) - 22(土)

会場：道の駅みなべうめ振興館ほか

定員：25名

参加費用：一般参加者 10,000円

学生/特別参加者 5,000円

※別途交流会費、体験料などがかかります

世界農業遺産に認定されている「みなべ・田辺の梅システム」。

人手不足の課題を抱えるなか、解決手段として「梅収穫ワーケーション」を構築しています。

ワーケーターは梅の収穫作業に没入し、農家は人手不足の解消につながることで、両者のウェルビーイングが高まっています。

### 学びのポイント

- 実際に梅の収穫などを体験をしながら、  
みなべ町の豊かな自然と文化を体験  
※梅収穫体験等のフィールドワークがありますので動きやすい  
服装でお越しください  
※時期によって梅の収穫が終了している場合がございます  
(梅の収穫が終了している場合は、加工作業などをします)
- ワーケーションによって生み出される  
地域とワーケーターの関係性を体感
- ワーケーションにより、担い手不足や  
高齢化などの地域課題を解決する手法
- ワーケーションによる関係人口の構築

スケジュール ※変更する可能性があります。

6月20日(木) 12:45～17:30 (交流会は18:30～)

- 開講式
- 講義① 「世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」について」  
講師：木田 勝紀 氏 (みなべ町役場うめ課)
- フィールドワーク① うめ振興館視察  
講師：木田 勝紀 氏 (みなべ町役場うめ課)
- 講義② 「ワーケーションが地域課題解決&関係人口創出につながる仕組み」  
講師：箕浦 龍一 氏
- 講義③ 「梅ワーで得たこれからの働き方」  
講師：島田 由香 氏
- パネルディスカッション「梅収穫ワーケーションがもたらすもの」  
パネリスト：箕浦 龍一 氏 × 島田 由香 氏 × 山本 秀平 氏 (うめ農家)
- 交流会① 講師陣、参加者同士の交流 (別途参加費 4,000円程度※希望制)

6月21日(金) 7:30～19:00

- フィールドワーク② 梅収穫ワーケーション～体験/地域との交流/協働活動～  
講師：地元梅農家
- フィールドワーク③ 梅加工事業所視察、工場見学
- 交流会② 梅料理体験 (別途体験料3,000円程度)

準備するもの ※貸し出しはありません。

- ・動きやすい服装
- ・長靴、レインコート(上下)、軍手、帽子、タオル

6月22日(土) 9:00～12:00

- グループワーク「自分の地域の課題をどのように解決するか」  
講師：箕浦 龍一 氏
- まとめ
- 閉講式



主任講師：箕浦 龍一

テレワーク・ワーケーション官民推進協議会(観光庁)初代会長  
立教大学特任教授  
元総務省職員。退職・独立後はフリーランスのコンサルタントとして、働き方改革や組織開発・組織文化変革、ワーケーション、DX、若手公務員の人材育成等の分野で活動中。  
梅の炊き込みご飯にどハマリ中。



特別講師：島田 由香

株式会社YeeY 共同創業者/代表取締役  
アステリア株式会社 CWO (Chief Well-being Officer)  
一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 代表理事  
1年の半分近くをワーケーション先で過ごすなど地域活性に情熱を燃やし、地方自治体の組織コンサルティングやワーケーションなどのコンテンツ開発支援、地域住民のウェルビーイングを高める仕組みづくりを行う。

申込方法

ご参加いただくには、事前のお申し込みが必要です。  
URLまたはQRコードから  
ホームページにアクセスして  
お申込みください。



【URL】

[https://www.jcrd.jp/event/chihouseusei/2024/0313\\_2919/index.html](https://www.jcrd.jp/event/chihouseusei/2024/0313_2919/index.html)

対象者

- ・ワーケーターを受け入れたい行政の方
- ・ワーケーションを会社として推進したい方
- ・担い手の減少、高齢化における解決策を学びたい方  
※地域づくり団体、公務員、学生等どなたでも歓迎します！

お問い合わせ先

(一財)地域活性化センター セミナー統括課

☎ 03-5202-6134

✉ [seminar@jcrd.jp](mailto:seminar@jcrd.jp)